

一般質問通告書（平成30年6月定例市議会）

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
1	河野 巧	1. 消防団員について	<p>平成17年、旧白杵市と旧野津町が合併。新白杵市となり今年で13年が経過しましたが当時から白杵消防団員500名、野津消防団員300名の定員で活動を行っていました。平成29年に白杵市消防団として1団制となり、現在も定員800名で活動をおこなっていますが合併時よりも人口は約6300名減少しています。今後は団員確保が困難になると予想されます。</p> <p>(1) 団員確保の現状についてどうなっていますか。            ① 団員の居住地及び職業別人数及び実働について            ② 団員の報酬等について            ③ 今後について</p> <p>(2) 消防庫（詰所）の設備について            ① 現状の設備及び今後について</p> <p>(3) 消防分団の統合等について</p>		
		2. 庁舎について	<p>平成26年から白杵庁舎のあり方検討がスタートされた中で本年4月に「みんなで創ろう！“新”白杵庁舎を考える市民会議」の報告書が市長へ手渡されました。</p> <p>(1) これまでの白杵庁舎検討について            ① 検討にかかった費用について            ② 市民の関心や反応について</p> <p>(2) 今後のスケジュール及び予定される費用について</p>		
		3. 風力発電について	<p>近年、再生可能エネルギーの1つとして考えられている風力発電が白杵市内や近隣自治体にも複数検討されていると聞きます。地元住民や近隣住民からは開発による自然災害や生態系への影響、農作物への鳥獣被害への不安の声が上がっています。</p> <p>(1) これまでの経緯について            ① いづごろからこの話が白杵市にありましたか            ② 地元住民との対話について            ③ 予想される経済効果について</p> <p>(2) 環境や景観について            ① 設置することで予想される環境や景観への影響について            ② 設置から20年後の対応について</p>		
2	戸四 映二	1. 介護予防について	<p>(1) 介護予防の取り組みについて            ① 介護予防に伴う生きがいづくりや健康づくりの現在の取り組みを伺います。</p> <p>(2) フレイル予防について            ① フレイル予防についてどのような認識を持っていますか。            ② フレイル予防の取り組みを導入してはいかがでしょうか。</p>		
		2. 高齢者や避難行動要支援者の避難について	<p>(1) 指定避難場所の基準について            ① 指定避難場所の設置についてはどのような基準をもとに指定・設置されていますか。</p> <p>(2) 避難行動要支援者の避難について            ① 個別避難計画策定の推進を行っていますが進捗はいかがでしょうか。</p> <p>(3) 高齢化に対応した避難体制の整備について            ① 今後の高齢化に備えての指定避難場所及び避難経路等の見直しや整備が必要と考えますがいかがでしょうか。</p>		
		3. 町家の維持・修復と活用について	<p>(1) 町家の現状と活用対策について            ① 町家の老朽化や空き家等の現状への認識と活用についての対策を伺います。</p> <p>(2) 町家の活性化について            ① 町家の活用推進に向けて「町家バンク」を設けてはいかがでしょうか。</p> <p>(3) 文化・観光資源となる古い町家の維持・修復と活用について            ① 国の歴史まちづくり法に基づく「歴史的風致維持向上計画」の認定を受ける取り組みを行ってはいかがでしょうか。            ② 町家の維持・修復・活用の推進を官民協働で図るための「条例」の制定を考えてはいかがでしょうか。</p>		

一般質問通告書（平成30年6月定例市議会）

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
3	広田 精治	1. 市長の基本姿勢について  2. 学校給食費の無料化について	<p>(1) 伊方原発の運転差し止めについて 原発の安全神話は過去のものとなりました。東南海・南海地震、伊方原発直下を走る中央構造線断層帯による地震など、原発事故のおそれは大きいと思います。運転差し止めを願う広範な市民の声にどう向き合うか、市長のスタンスを示してください。</p> <p>(2) 国による公文書の隠ぺい、改ざん問題は国会審議の根本を壊し、民主主義を揺るがしています。情報の開示と議会に対する市長の基本的な姿勢は。</p> <p>(1) 学校給食の無料化に踏み出すことが急がれます。保護者の経済的負担を軽減する学校給食費無料化は本市の「子育て支援の諸施策」のいっそうの充実、切れ目のない総合的な少子化対策として大きなインパクト、効果を生むと思いますが、市の考えは。</p> <p>(2) 財源として必要な額は平成30年度当初予算比で0.6%であり、予算の優先順位の見直し、また過去の実質収支の実績も精査することで十分確保できると思われませんが、市の見解は。</p>		
4	川辺 隆	1. 南海トラフ地震発生時の対応について  2. 中学校の運動部活動及び小中学校の社会体育(クラブチーム)について	<p>南海トラフ地震が今後30年以内に70%~80%の確率で発生すると予想されています。</p> <p>(1) 地震による津波の影響をうける白杵市の地区はどの位ありますか？</p> <p>(2) 津波の影響をうける地区には、小中学校が何校ありますか？</p> <p>(3) 小中学校の地震津波発生時の避難計画、避難活動についての取り組み状況を伺いたい。</p> <p>(4) 避難路と避難場所について ① 現在の整備状況は。 ② 避難路の車両速度抑制について ③ 歩道の無い避難路のグリーンベルト化について</p> <p>(1) 総合的なガイドラインに対する白杵の取り組み状況を伺いたい。</p> <p>(2) 学校における部活動の外部講師に対しての市のサポート体制や助成はどのように取り組まれておりますか。</p> <p>(3) 社会体育(クラブチーム)に対しての市のサポート体制や助成はどのように取り組まれておりますか。</p>		
5	四田久美子	1. 「多様な性を尊重する地域社会」の実現について  2. 「学校給食」について	<p>(1) 「市民への啓発活動について」 多様性が進む中で、今後LGBTの権利を求めたり性の多様性を受け入れる動きはさらに広がると推察され、今後、計画的な啓発活動が必要だと思います。現在、企業や市民に対してどのような啓発を行っていますか？今後どのように取り組もうとお考えですか？</p> <p>(2) 「学校現場での取り組みについて」 今年度、教職員向けに「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について」の通知資料が出され、その中でLGBTの児童生徒への対応の重要性を謳っていますが、白杵市の学校現場では、どのような対応がとられていますか？</p> <p>(3) 「白杵市での今後の方向性について」 ① 現在、7つの自治体が地域の実情に合わせた横断的な取り組みを進めた結果として、同性パートナーシップを条例で認めています。移住やインバウンドを進める白杵市においてもパートナーシップ制度の導入は重要だと思われれます。計画的に取り組むを進めたいかががでしょうか？ ② 「白杵市まちづくり基本条例」の中にある「性別」という表記のあとに、但し書きでいいので『性的指向または性別自認を問わず』という文言を入れて、セクシャリティの多様性を認めるまちづくりへの方向性を明確に示してはいかがでしょうか？</p> <p>(1) 「白杵産野菜の使用率について」 白杵市が目指す『有機の里づくり』のひとつとして、「給食畑の野菜」という取り組みがあります。地元野菜使用率の目標値を平成31年度には50%としていますが、目標値達成のためにこれからどのような対策をお考えなのか教えてください。</p> <p>(2) 「給食費の徴収方法について」 現在の徴収方法は、野津地域では基本的に口座引き落としであるのに対し、旧白杵地域ではその徴収業務を教員が担っており、教職員の精神的負担や長時間勤務の一因になっています。旧白杵地域においても口座引き落とし等に移行することが望ましいと考えますが、いかががでしょうか？</p>		

一般質問通告書（平成30年6月定例市議会）

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
6	大塚 州章	1. 新白杵庁舎の整備について	(1) 白杵市の庁舎に対する考え方として「地震津波の災害対策」「まちづくりへの寄与」「今後に極力影響を与えない財政運営」の3点を中心に検討するとされていましたが、各々についての重要性をお伺いしたい。 (2) 庁舎のあり方について方針決定の参考とするための「市民会議」を開催し終了した現在、さきほどの3点についてどの様に整理され、新庁舎を検討されるか伺いたい。		
		2. 野津東部工場用地の活用について	(1) 合併して13年になるが、これまでの経過について (2) 広域農道大南野津線の道路完成による今後の展望について		
7	若林 純一	1. 交通空白地域やバス停までの距離が遠い地域における移動手段の確保について	平成29年3月定例会において「バスやコミュニティバスが運行していない交通空白地域や、バス停までの距離が遠い地域に対する高齢者等市民の移動手段の確保は重要な課題であることから、庁内関係各課が連携し、本市の実情に合った今後の望ましい公共交通について協議を重ねており、これらを踏まえた白杵市地域公共交通網形成計画を、現在策定しているところであります。」と答弁され、平成29年3月に「白杵市地域公共交通網形成計画」が策定されました。 (1) 「交通空白地域やバス停までの距離が遠い地域」とは、具体的にはどのような地域が想定されますか？ (2) 「移動手段の確保」とは、どの程度のサービスレベル（例えば「最低週2日、自宅と中心市街地間を往復」など）が想定されますか？ (3) 課題解決に向けてどのような仕組みで進める考えですか？ (4) 実現に向けてのタイムスケジュールはどうなりますか？		
		2. 中心市街地の活性化について	平成29年12月定例会において「白杵まちなか泊」に関して「城下町の遊休資産や公共施設の有効活用と独自の交流プログラムを組み合わせた白杵の新たな魅力による観光振興を進め、町屋の利活用とともに中心市街地の活性化につなげていきたい」との市長報告がなされました。 (1) 「白杵まちなか泊」はどのように取り組まれていますか？ (2) 今後どのように進めていきますか？		
		3. 新白杵庁舎について	(1) 白杵庁舎の抜本的な対策についての現在の考えをお聞かせください。		
8	奥田富美子	1. 給食センターの体制について	(1) 白杵市学校給食センターで働いている方の内訳はどうなっていますか？ (2) 白杵市の学校給食は「給食畑の野菜」を中心に地元の食材を使用していることが評価されています。これを継続するために今後の体制についてお考えがありますか？		
		2. 白杵のお墓事情について	(1) 一度建てたお墓は先祖代々が受け継ぎ、管理をしていくのが一般的でしたが少子高齢化、核家族などでこれまでと大きく事情が変化してきています。白杵市の現状はどうなっていますか？ (2) 空き家対策と同様、お墓についても考えていくことが必要だと思います。例えば市営の合祀墓など設置の必要はありませんか？		
		3. 太陽光発電について	(1) 白杵市において太陽光発電設置数はどれだけですか？ (2) 周辺場所の安全を確保するための対策はどのように整備されていますか？		
		4. バイオマス産業都市構想について	(1) BDFについて 廃油をBDFに精製して、農業機械や運搬などに活用していく取り組みの実施主体者も現れ、場所の選定もかなり具体的になるところまで来てブレーキがかかったように聞いています。その理由と今後の展開をお聞かせください。 (2) この計画期間は平成27年度から10年間とあり「他の計画との整合及び連携を図りながら、社会情勢等の変化に応じ、必要であれば、見直す」となっています。見直しに迫られていることが有りますか？		